

関係各位

福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会
(事務局：J A 福岡中央会 担い手サポートセンター)
(公 印 省 略)

営農情報 2

今後の降雨を想定した麦の収穫について

今年産麦は、成熟期が平年よりやや早く、大麦・はだか麦の収穫が5月中頃から進められています。今後、梅雨入りを控え、今後曇りや雨の日が増えることが予想されます。

収穫期の降雨によって、麦の収穫作業や品質に悪影響が出るのが懸念されますので、ほ場の状況や気象情報に留意しながら今後の作業を進めて下さい。

1 排水対策

今後の降雨に備え、ほ場内から確実に排水できるよう、うね溝等の溝さらえや排水口の整備を行いましょ。

2 適期収穫のための体制整備

- (1) カントリーエレベーターやライスセンターの計画的な荷受け体制を整えましょ。
- (2) 麦の登熟状況や倒伏等の被害状況をほ場毎にあらかじめ把握し、品質の確保を前提に効率的な刈取り計画を作成しましょ。
- (3) 収穫日の見極めとそれに合わせた作業員確保のため、週間天気予報等の最新の気象情報の把握に努めましょ。

3 収穫、荷受けに関する留意点

今後、天候が不安定になった場合、収穫、荷受けに際しては、以下の点に十分留意するようお願いします。

- (1) 収穫期を迎えたほ場から、順次速やかに収穫しましょ。
- (2) 倒伏程度が大きい等、品質低下の恐れがあるほ場は、収穫、乾燥、調製を別処理で作業を行いましょ。
- (3) 高水分の麦は、収穫後に穂発芽や赤かび病が発生することがあるため、直ちに乾燥しましょ。

以上